

様式2【後期】

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス 高等学校 地歴公民科 教科指導研修

1 研修日程

(研修者：小学校20人、中学校41人、高等学校31人)

| 期 日 | 時 間 | 研 修 内 容 | 会 場 |
|--|-------------------------------|---|---------------------------|
| 第1日 8月22日 (金) | 9:00~ 9:30 | 受付<総合教育センター第13・14講義室前> | 総合教育センター 第13・14 講義室 |
| | 9:30~ 9:40 | オリエンテーション | |
| | 9:40~10:40 | 【講義：学習指導要領と評価】 総合教育センター研究指導主事（2名） | |
| | 10:50~11:50 | 【講義：ミドルリーダーとして地歴公民科教員に期待すること】 講師 県立高等学校教頭 | |
| | 11:50~12:50 | 休憩 | |
| | 12:50~13:50 | 【講義：家庭裁判所の業務及び家事調停制度】 講師 家庭裁判所職員 | 第13・14 講義室 |
| | 14:00~16:10 | 【研究協議：模擬教科会―目指すべき生徒像を踏まえた年間教科指導計画について―】 総合教育センター研究指導主事（2名） | |
| 16:10~16:30 | 教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡 | | |
| 第2日 10月3日 (金) 午前 小中高合同 | 9:00~ 9:30 | 受付<総合教育センター講堂前> | 総合教育センター 講堂 |
| | 9:30~ 9:40 | 諸連絡 | |
| | 9:40~12:00 | 【講義：社会科におけるカリキュラム・マネジメントの在り方】 講師 大学准教授 | |
| | 12:00~13:00 | 休憩 | |
| | 13:00~16:10 | 【研究協議：カリキュラム・マネジメントを意識した単元構想】 講師 大学准教授 | 第13・14 講義室 |
| | 16:10~16:30 | 教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡 | |

2 連絡事項（課題等）

| | | |
|---------------|-------|---|
| 連絡事項 (課題等) | 全日程共通 | <p>【Teamsへの参加について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出、研修資料の配付等ではMicrosoft Teamsを利用するため、5月16日発出の通知に示されているチームコードから、「R7中堅研【後期】(地歴公民)」に5月30日までに参加すること(愛知教育大学附属高等学校は別途連絡する)。 <p>【eラーニングについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> eラーニング研修「高等学校地理歴史・公民の授業構想の工夫」の学習に当たっては、『研修事業案内』P.33を確認する。 ・学習期間：6月2日(月)から7月4日(金)まで |
|---------------|-------|---|

| | | |
|---------------------|--|--|
| | | 【持ち物について】 ・愛知県教育委員会が配備したSurface Proまたは所属校で管理職に許可されているタブレット端末（※校内で持ち出し手続きを行うこと） |
| 第1日 8月22日 (金) | 【課題及び提出について】 ・提出課題 1学期における指導計画について ・課題様式 詳細は、「3 課題様式（記入例）（1）」を参照する。 ・提出期限 Microsoft Teams内で連絡する。 ・提出方法 Microsoft Teamsの指定のチーム内のチャンネルにPDFファイルを提出する。 ・課題の作成にあたっては、学習指導要領解説（平成30年告示）の地理歴史編・公民編のうち、「第1章 総説」と「第2章 地理歴史科の各科目」の今年度担当している科目の該当ページ（例：「地理総合」であれば、P.35～P.75）について読み、内容を確認する。 | |
| 第2日 10月3日 (金) | 【課題及び提出について】 ・提出課題 9月中旬までに実践した研究授業についての学習指導案 ・課題様式 詳細は、「3 課題様式（記入例）（2）」を参照する。 ・提出期限 Microsoft Teams内で連絡する。 ・提出方法 Microsoft Teamsの指定のチーム内のチャンネルにPDFファイルを提出する。 | |

3 課題様式（記入例）

(1) 1学期における指導計画（科目名）について（8月22日（金）使用）

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 高等学校地理歴史・公民科

| | |
|----------------------------|---|
| 受講番号 | |
| テーマ | 模擬教科会—目指すべき生徒像を踏まえた年間教科指導計画について— 1学期における指導計画（科目名）について |
| 1 本校が目指すべき生徒像について | (章立ては左記に準ずる) |
| (1) 本校のスクール・ポリシー | ← 箇条書きでよい（詳細な説明は口頭で行う） |
| (2) 本校の生徒の現状について | ← 箇条書きでよい（詳細な説明は口頭で行う） |
| (3) 本校の地理歴史科、公民科で育成すべき資質能力 | |
| ア ○○○○ | 各学校の実情に応じて、どのような力を育成したいかを具体的に記載する（例：「物事を多面的・多角的に考察する力」など）。詳細な説明は口頭で行う。 |
| イ ○○○○ | |
| (4) [科目名]で育成すべき資質能力 | ←[科目名]は具体的科目名を記入 |
| ア ○○○○ | 上の(3)実現のために、この科目ではどのような力を育成したいかを具体的に記載する。（例：「複数の資料から必要な情報を読み取る力」など。詳細な説明は口頭で行う。 |
| イ ○○○○ | |
| 2 1学期における学習指導と評価について | |
| (1) 指導と評価における成果と課題について | ※口頭での説明を前提としているので、できるだけ簡潔に記述する。 |
| (2) 次年度に向けての改善点 | |

(注)・個人情報の取り扱いに十分留意し、特に生徒の個人名及び男女の区別の記載はしない。

- ・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
- ・A4判縦長横書き。枚数は2ページ以内。
- ・字の大きさは、10.5ポイント。
- ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

(2) 学習指導案様式について（10月3日（金）使用）

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 高等学校地理歴史・公民科

| | | | | | | | | | |
|---|------------------------|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 受講番号 | | | | | | | | | |
| テーマ | カリキュラム・マネジメントを意識した単元構想 | | | | | | | | |
| 地理歴史科・公民科（科目名）学習指導案 | | | | | | | | | |
| 1 | 単元名（題材名） | （章立ては、左記に準ずるものとする） | | | | | | | |
| 2 | 単元目標 | | | | | | | | |
| 3 | 単元計画 | | | | | | | | |
| | (1) 指導計画 | | | | | | | | |
| | (2) 単元の評価規準 | ← <u>単元目標に対応させる。</u> | | | | | | | |
| | (3) 指導内容及び評価計画 | | | | | | | | |
| | (4) 評価問題及び評価規準 | ← <u>省略してもよい。</u> | | | | | | | |
| 4 | 本時の目標 | | | | | | | | |
| 5 | 本時の展開 | | | | | | | | |
| 6 | 本時の評価規準及び学習支援 | | | | | | | | |
| ※学習指導案様式は総合教育センターウェブページ内の以下のものを参照する。 「TOP」>「研究事業」>「教科・領域の研究」>「社会・地理歴史・公民」>「令和5年度版 授業の手引<理論編>」のP.18~P.20の「例1（細案）」を参考にする。 <u>ただし、章立ては上記のものに準ずること。</u> (旧ウェブページでは「TOP」>「教科・領域」>「社会・地理歴史・公民」) | | | | | | | | | |

(注)・個人情報の取り扱いに十分留意し、特に生徒の個人名及び男女の区別の記載はしない。

- ・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
- ・A4判縦長横書き。枚数は4ページ以内。
- ・字の大きさは、10.5ポイント。
- ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

4 問い合わせ先

担当 学校支援研究課教科研究推進グループ（渡邊）

電話 0561-38-9504（ダイヤル）